

2025年7月期第2四半期
決算説明資料



3441・東証スタンダード

目 次

- ▶ 2025年7月期第 2 四半期 決算概要
 - ▶ 2025年7月期 通期見通し
 - ▶ トピックス
 - ▶ ご参考（会社概要等）
-



業績サマリー（2025年7月期第 2 四半期累計 2024年8月～2025年1月）

新製品受注獲得等により、前期比増収増益となりました

(単位:百万円)

	2024年度			2025年度			増減率
	1Q (23.8-10)	2Q (23.11-24.1)	累計 (23.8-24.1)	1Q (24.8-10)	2Q (24.11-25.1)	累計 (24.8-25.1)	2025.2Q累計/ 2024.2Q累計
売上	2,172	2,090	4,263	2,516	2,523	5,039	+18.2%
営業利益	234	114	348	338	225	563	+ 61.6%
純利益	220	177	397	276	195	471	+18.6%
営業利益率	10.8%	5.5%	8.2%	13.4%	8.9%	11.2%	



2025年7月期第2四半期連結財務概要

(単位：百万円)	2024年 7月末	2025年 1月末	増減
総資産	12,054	11,799	▲255
有利子負債（リース債務を除く）	3,985	3,688	▲297
純資産	6,419	6,744	+325
1株当たり純資産（円）	1,437	1,506	+69
自己資本比率（％）	53.3%	57.2%	+3.9%
D/Eレシオ（倍）	0.62	0.55	

・資産効率の観点から、借入金、預金を減少させた結果、総資産は減少しました。

・利益相当分が、純資産の増加となり、自己資本比率が向上、結果、D/Eレシオも改善しました。

※D/Eレシオ
企業の健全性を表す指標
有利子負債/純資産で算出します。

日本は自動車市場並びに通信市場、フィリピンは自動車市場がけん引役となり増収

日本

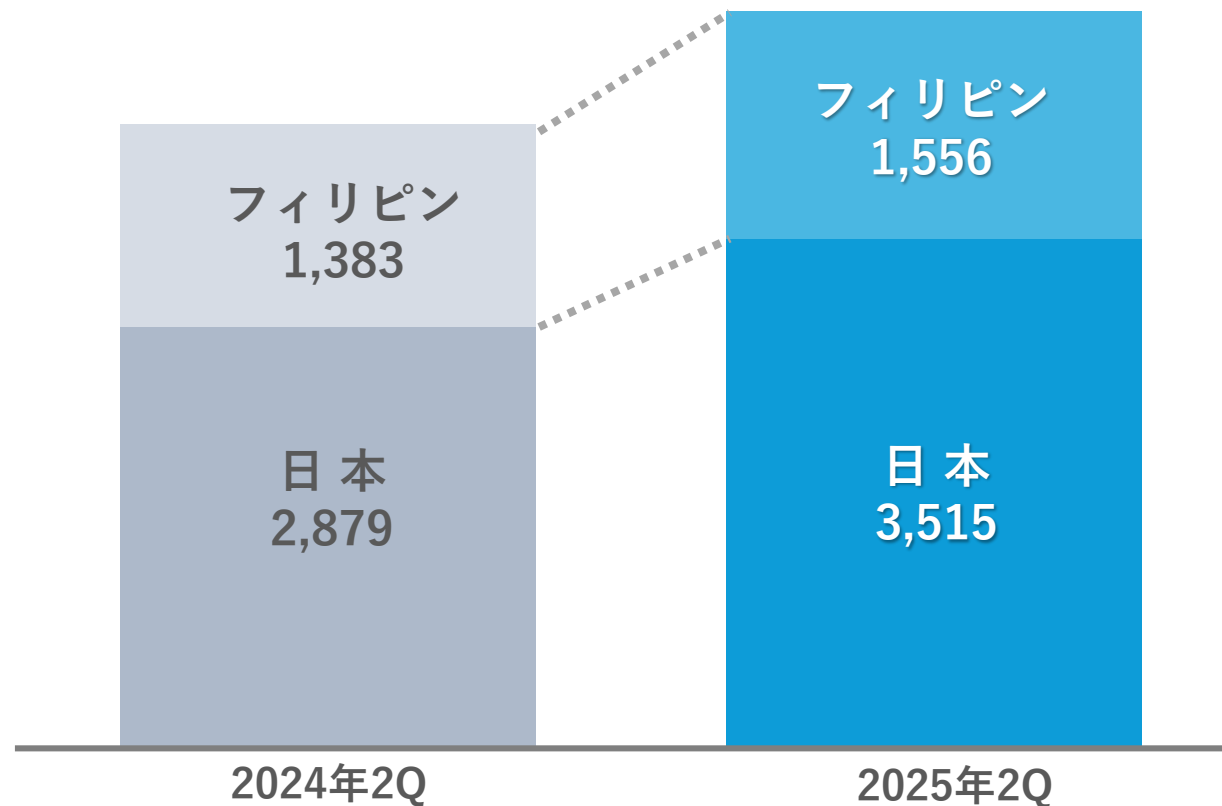
売上高 3,515 (前期比 +22.0%)

フィリピン

売上高 1,556 (前期比+12.5%)

(単位:百万円)

▶ 累計期間売上高 (単位:百万円)





貸借対照表の状況

(単位:百万円)

資産			
科目	2024/7末	2025/1末	増減額
現預金	3,901	3,562	▲339
営業債権	2,181	2,122	▲58
棚卸資産	1,970	2,090	+120
その他流動資産	186	123	▲63
流動資産合計	8,238	7,898	▲340
有形固定資産	3,148	3,232	+84
無形固定資産	147	131	▲16
その他	519	537	+18
固定資産合計	3,815	3,900	+85
資産合計	12,054	11,799	▲255

負債			
科目	2024/7末	2025/1末	増減額
支払債務等	364	412	+48
借入金	3,985	3,688	▲297
リース債務	270	283	+13
その他負債	1,014	670	▲344
負債合計	5,634	5,054	▲580
純資産			
科目	2024/7末	2025/1末	増減額
資本金及び資本余剰金	5,594	6,023	+ 429
自己株式	▲260	▲255	+ 5
その他	1,086	976	▲110
純資産合計	6,419	6,744	+ 325
負債純資産合計	12,054	11,799	▲255

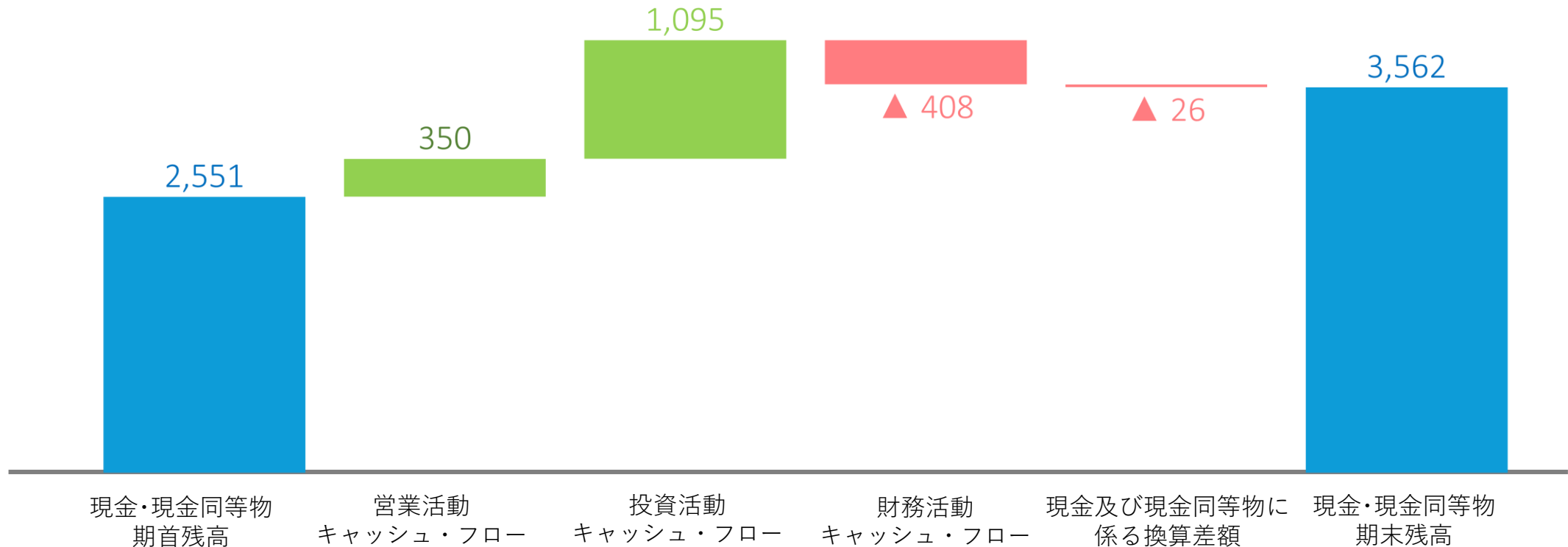


キャッシュ・フローの状況

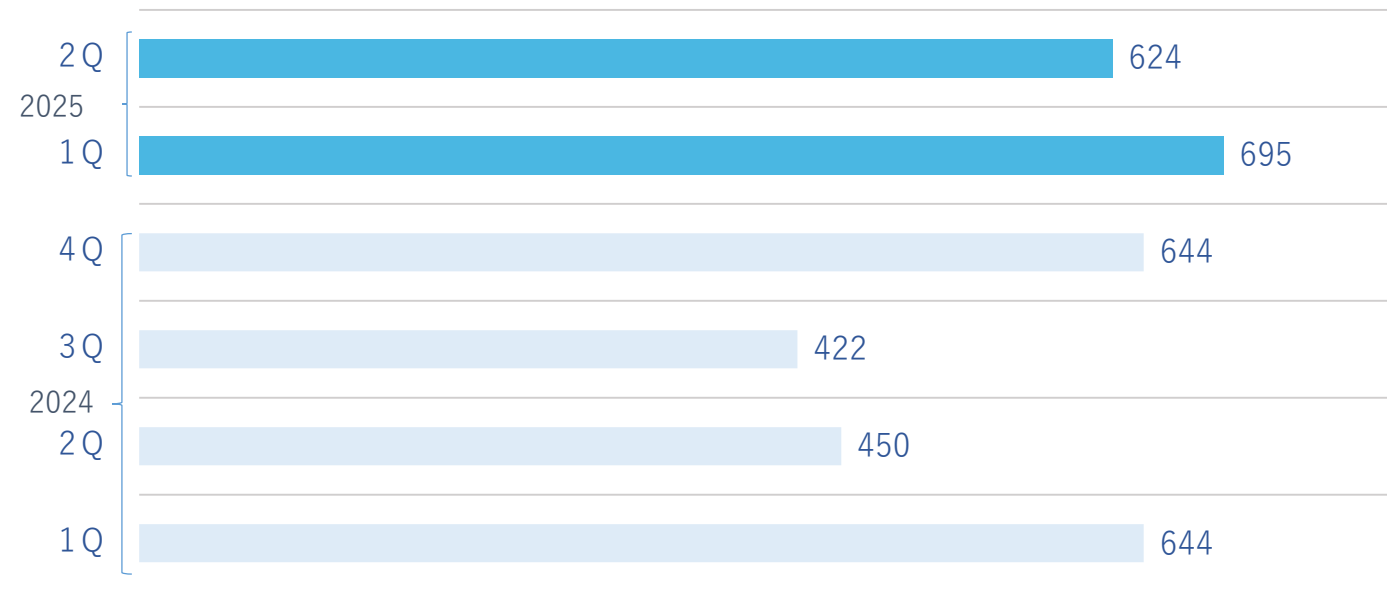
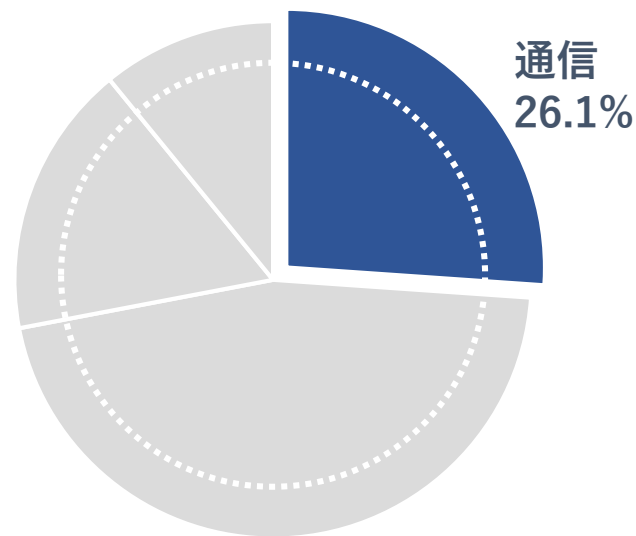
- ・ 投資活動によるキャッシュ・フローの増加は、定期預金を短期預入に変更したため
- ・ 財務活動によるキャッシュ・フローのマイナスは借入金返済が進捗したため

▶ 2024年8月1日～2025年1月31日 キャッシュ・フロー

(単位:百万円)



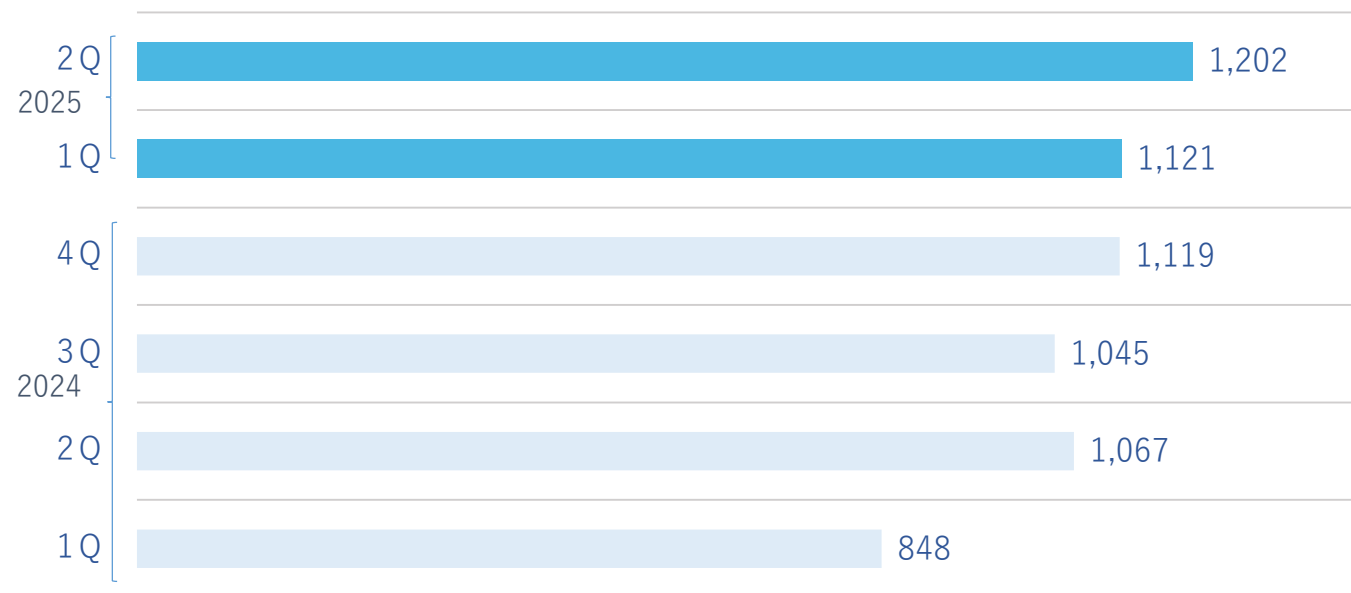
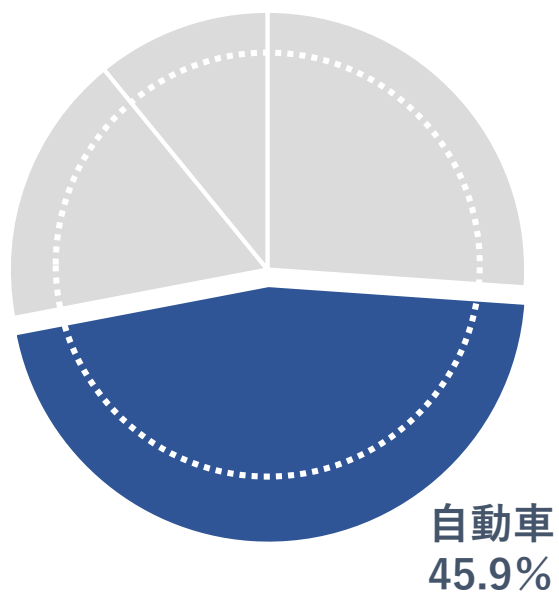
スマートフォン等先端製品の新製品受注が寄与



	2024年度			2025年度			前年同期比
	1Q	2Q	累計	1Q	2Q	累計	2025.2Q累計/ 2024.2Q累計
売上高	644	450	1,094	695	624	1,320	+20.6%

(単位:百万円)

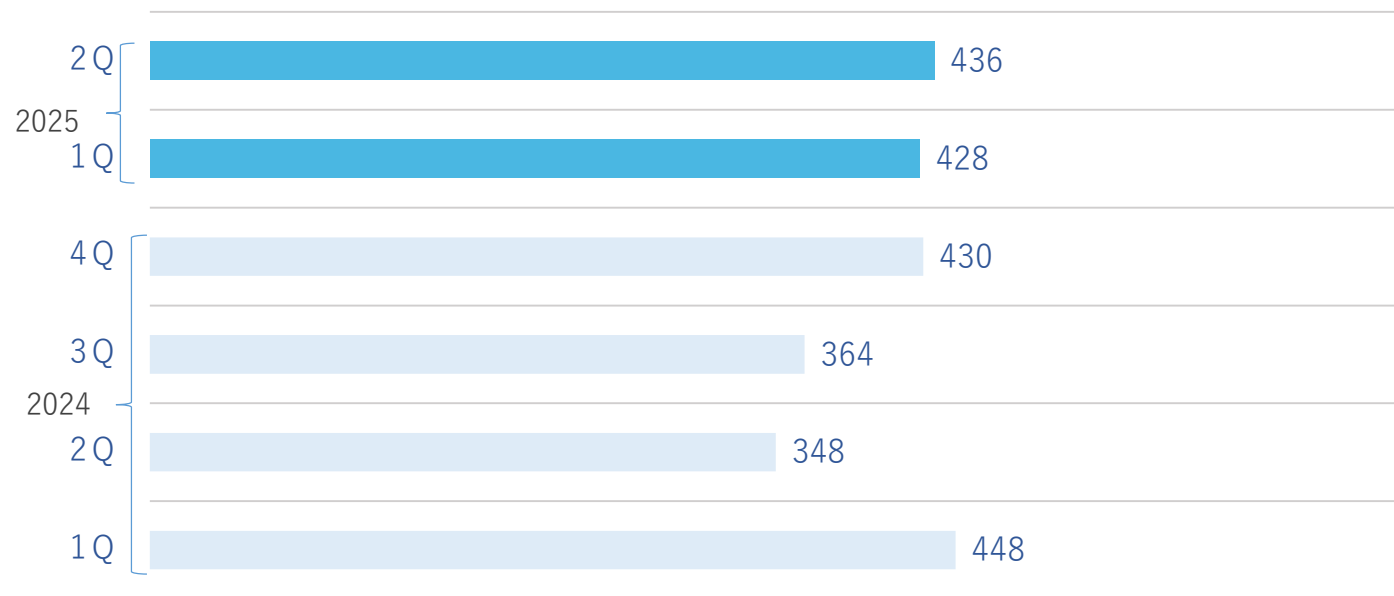
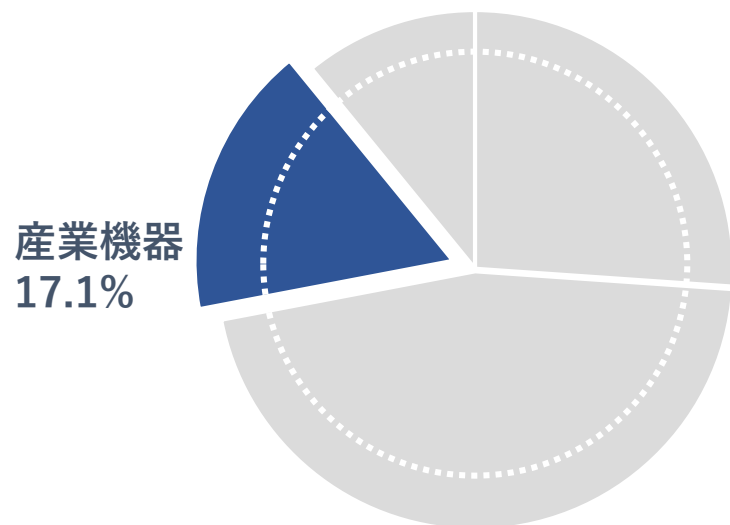
自動車向け新製品受注が寄与し、増加傾向継続



	2024年度			2025年度			前年同期比
	1Q	2Q	累計	1Q	2Q	累計	2025.2Q累計/ 2024.2Q累計
売上高	848	1,067	1,915	1,121	1,202	2,324	+21.3%

(単位:百万円)

産業機器向けの在庫調整が続き、低調に推移しているが、前期比では増加



	2024年度			2025年度			前年同期比
	1Q	2Q	累計	1Q	2Q	累計	2025.2Q累計/ 2024.2Q累計
売上高	448	348	796	428	436	864	+8.5%

(単位:百万円)

-
- ▶ 2025年7月期決算概要
 - ▶ 2025年7月期 通期見通し
 - ▶ トピックス
 - ▶ ご参考（会社概要等）
-



依然として、景況感が不透明なことを踏まえ、前回公表予想を据え置きます

(単位:百万円)

	2024年度 (2024/7月期) 実績		2025年度 (2025/7月期)		
	第2四半期 累計	通期	第2四半期 累計	2024.9 公表値	今回公表値 (修正なし)
売上高	4,263	8,802	5,039	8,900	8,900
営業利益 (%)	348 (8.2%)	232 (2.6%)	563 (11.2%)	250 (2.8%)	250 (2.8%)
当期利益 (%)	397 (9.3%)	312 (3.6%)	471 (9.4%)	200 (2.2%)	200 (2.2%)



受注拡大、生産性向上に向け継続的に設備投資を実施します

▶ 自動化設備の導入等生産性向上に向けて、効果的な設備投資を継続します

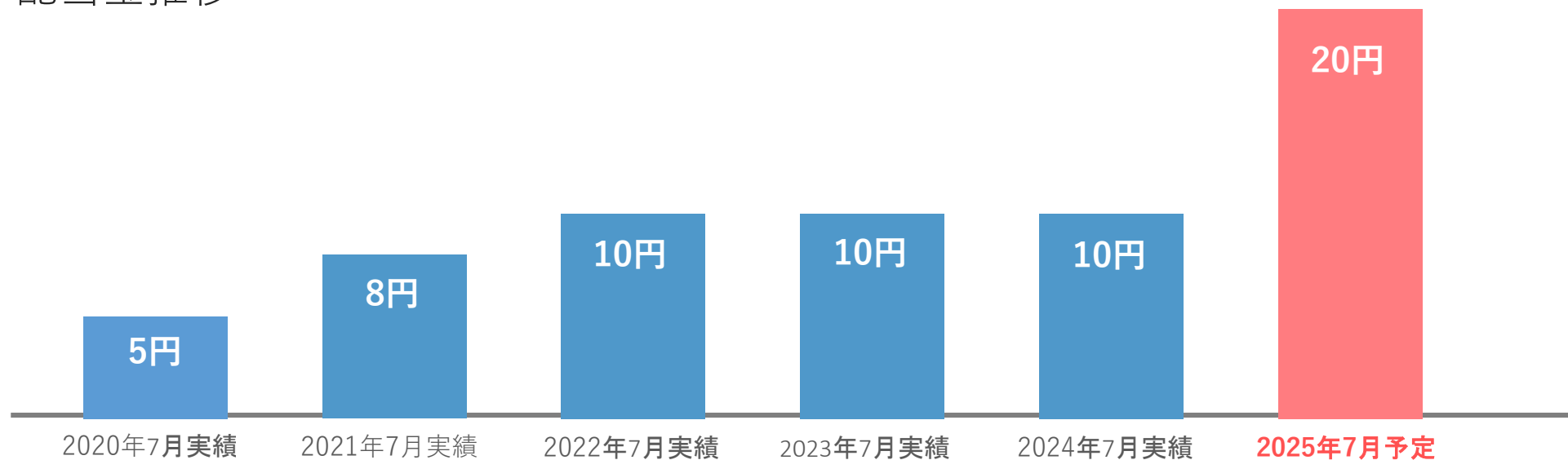
(単位:百万円)

	2024/7 実績	2025/7 見込	前年比(%)	前期差異
設備投資額	186	720	387.1	+534
減価償却費	462	484	104.8	+22
研究開発費	58	40	69.0	▲18

単年度の業績の影響を受けにくい株主資本配当率（DOE）を採用

- ・ DOE（株主資本配当率）の目標を2.0%とし、安定的な配当を実施する方針です

▶ 配当金推移



自社株買い決議（2025年3月14日）

- ・ 取得し得る株式の総数：上限 150,000 株
（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合3.4%）
- ・ 株式の取得価額の総額：上限 150,000,000 円
- ・ 取得期間：2025 年 3 月 17 日から 2026 年 1 月 30 日まで
- ・ 自己株式の取得を行う理由：資本効率の向上と株主への一層の利益還元を
図るとともに、経営環境の変化に対応した機
動的な資本政策を遂行するため

-
- ▶ 2025年7月期第2四半期 決算概要
 - ▶ 2025年7月期 通期見通し
 - ▶ トピックス
 - ▶ ご参考（会社概要等）
-



株式会社明王化成への出資に関するお知らせ

2024年11月株式会社明王化成の全株式を取得し、完全子会社としました

幅広い射出成形技術を獲得し、プレス、めっき、インサート成形という当社グループが進める一貫加工体制が可能となり、ビジネスの拡大を加速することでさらなる競争力の強化を図ります。

本提携により、当社が有するコネクタ各社との取引実績、営業ネットワークを生かすことが可能であり、両者が有する技術や顧客基盤、人材等の経営資源を有効に活用する事でのシナジー効果が期待出来るものです。株式会社明王化成との協力を通じて、両社のシナジーを最大化し、持続可能な成長を実現してまいります。

企業名： 株式会社 明王化成
事業内容： 合成樹脂成形加工および販売
電子部品の組立および販売
その他付帯する業務

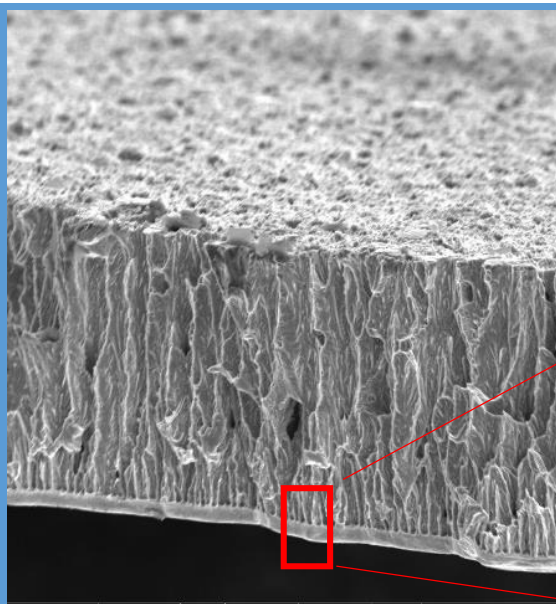


めっき水素透過膜開発の概要

- 水素精製に利用可能な水素透過膜を開発中
- 産業技術総合研究所、東京科学大学との共同開発により更なる高性能化、実用化を推進中
- 成果をリーフふくしま2024(2024/10)で発表しました

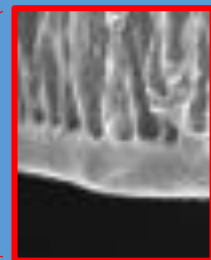


めっき水素透過膜



複合めっき水素透過膜の構造

パラジウム削減
高強度な複合構造



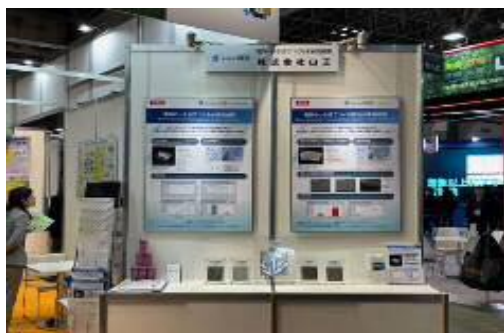
多孔質ニッケル膜
パラジウム合金膜



リーフふくしま2024ブース

めっき水素透過膜の外部展示実績

- 今後大きな成長が期待できる水素分野における参入を目指し、「川崎国際環境技術展」「SMART ENERGY WEEK 春」に出展しました
- 当社の貴金属電気めっき技術を応用した水素精製用水素透過膜の技術について紹介
- 幅広い方々からの関心を持っていただき当社のPRにつながりました



第17回 **川崎国際環境技術展**
The 17th Kawasaki International Eco-Tech Fair

開催日	2024年11月13日・14日
会場	カルッツ川崎 川崎市川崎区富士見1-1-4

水素透過膜
Hydrogen Permeable Membrane



Fig. Electrodeposition Hydrogen Permeable Membrane (Pd-Cu alloy)



開催日	2025年2月19日～21日
会場	東京ビッグサイト 江東区有明3-11-1



脱炭素化に向けた取り組み（基本理念とシステムの概要）

基本理念

株式会社山王は、地球環境の保全に努め、次世代に引き継ぐことが人類の果たすべき共通の使命と自覚し
当社の活動、製品およびサービスは環境への配慮を確実にします

システムの概要

創エネ(太陽光パネル)



太陽光パネル711KW
・めっき棟479KW
・プレス棟232KW

▼
発電によりCO₂及び電力を削減

蓄エネ(蓄電池)



蓄電池:159kwh 産業向け蓄電システム

▼
使用電力の多い時間帯の使用量を削減するピークカットにより、電力使用量を低減します。また災害発生時等停電時の非常用電源としてBCP対策にも活用します。

省エネ(EV充放電器・エネルギーマネジメントシステム：EMS)



EV充放電器6台・EV2台

▼
社用車の電気自動車EV化を進める事でCO₂を削減します。また災害等停電時にはEVからオフィスへの非常用電源としてBCPにも活用します。



エネルギーマネジメントシステム：EMS

▼
エネルギー使用状況を把握した上で、最適な利用を実現するシステム(EMS)の導入で充放電の制御を実現します。電力使用量/発電量の可視化・最適化を実現します。



脱炭素化に向けた取り組み（導入効果とサステナビリティ対応）

導入効果



- ①「再生可能エネルギーの活用でCO₂を削減」
- ②「創エネ、蓄エネ、省エネ推進で経済性を向上」
- ③「災害時には非常用電源を確保でき、BCP対策にも寄与」



太陽光発電システム

東北事業部敷地内に711kW(出力)の太陽光パネルを設置しました。
これによりCO₂削減を進めるとともに、余剰電力を蓄電池に蓄電することでエネルギーの効率的な活用を図ります。

蓄電池システム

出力50kW、容量159kWhの産業向け蓄電システムを設置しました。使用電力の多い時間帯の使用量を削減するピークカットの実現により、電気使用量の低減を図ります。
また災害発生等停電時の非常用電源としてBCP対策にも活用します。

EV充放電器システム

出力5kW×6基の充放電器システムを設置しました。
電気自動車(EV)の充電に加え、災害発生等停電時の非常用電源としてBCP対策にも活用します。

気候変動などの地球環境問題、人権の尊重、従業員の健康・労働環境や公正・適切な処遇、取引先との公正・適正な取引、自然災害等の危機管理など環境や社会への「サステナビリティ(持続性)」に配慮します。

2015年パリ協定で定められた産業革命以降の気温上昇を2℃未満(もしくは1.5℃未満)に抑えるという国際的な目標に対し、温室効果ガスの排出削減を「4.2%/年(5年先目標)」の実現に向けグループ全体で取り組みます。



全国鍍金組合連合会 優良環境事業所



GHG排出量の算定 Scope3の把握へ向け活動しています

目標：2030年度▶ 温室効果ガス排出量を50%削減（当社2017年度対比）

地球温暖化防止、資源保護、環境汚染防止などへの取組み強化の一環として、東北事業部に導入した太陽光発電をベースとする再生可能エネルギー設備を使い、東北事業部で使用する電力において、再生可能エネルギー発電所由来のCO₂フリー電気を活用することで、CO₂排出量を2030年度に2017年度比で50%削減することを目標として掲げております。

引き続き地球環境への負荷軽減を図ってまいります。





「かながわサポートケア企業」の認証を取得

「かながわサポートケア企業」は、神奈川県内に拠点をもつ企業等のうち、従業員の仕事と介護の両立を積極的に支援していると県が認証した企業のことです。

当社は、介護休業についての勉強会開催、フレックス勤務制度の導入等両立支援に関する取組みを神奈川県に申請し、その結果、サポートケア企業としての基準を満たしたことから認証されました。

当社は、今後も従業員が働きやすい環境づくりを推進してまいります。

かながわサポートケア認証企業の紹介

企業名：株式会社山王

仕事と介護の両立 における思い（担当者コメント）

介護をしながら自分の仕事や生活を大切にできる職場を作ります。

WORK KAIGO BALANCE
かながわサポートケア企業

● **仕事と介護の両立に向けた 取組**

- ・介護休業についての勉強会開催
- ・仕事と介護の両立に関するアンケート実施
- ・フレックス勤務制度、在宅勤務制度の導入

● **従業員の 声・取組後の 変化**

介護休業と在宅勤務制度を利用し、家族の介護をしながら仕事を続けることができました。上司や同僚に配慮をいただきとても感謝しています。（制度利用者より）

● **今後の ビジョン**

仕事と介護を両立する従業員が安心して働き続けることができる職場づくりを目指し、引き続き職場環境の整備や支援制度の拡充を進めてまいります。

企業情報

- 業種：製造業（コネクタ、スイッチ等の電子部品の精密プレス加工および金型製作、貴金属表面処理加工）
- 所在地：横浜市港北区綱島東5-8-8
- 代表者：代表取締役社長 荒巻 拓也
- 従業員数：279名（2024年7月31日現在）
- 企業HP：<https://www.sanno.co.jp/>

健康優良企業「銀の認定」取得

「銀の認定」とは、企業全体で健康経営づくりに取り組むことを宣言し、定期健康診断受診率100%、健診結果活用、健康づくり環境の整備、食、運動、禁煙、心の健康の項目について、職場の健康づくりと環境整備に取り組む、一定の成果を上げた企業を健康優良企業として認定する制度です。今後も健康優良企業として、従業員が元気で働き続けることができる職場づくりに取り組み、健康経営を推進してまいります。



健康経営優良法人2025（中小規模法人部門）認定

経済産業省及び日本健康会議が実施する健康経営優良法人認定制度において
「健康経営優良法人（中小規模法人部門）」に認定されました

健康経営優良法人認定制度は、経済産業省が推進する制度で、企業や団体が従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいることを評価・認定する制度です。

当社はこれまで、従業員一人ひとりが心身ともに健康で、いきいきと働ける環境づくりに取り組んでまいりました。

具体的には、社内禁煙への取り組み、インフルエンザ予防接種率向上、血糖値を下げる取り組みなど、健康を支えるさまざまな施策を実施しております。

今後も従業員の健康維持・増進に努め、より働きやすく、持続的に成長できる企業を目指してまいります。



2025
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
中小規模法人部門



人々を笑顔に、暮らしを豊かに、技術で未来につなぐ

事業内容	電子部品を対象とした貴金属表面処理加工・精密プレス加工、金型設計・製作
創業	1958年8月
代表者	代表取締役社長 荒巻 拓也
所在地	本社：神奈川県横浜市港北区綱島東5-8-8
資本金	9億6,220万円（2024年7月末現在）
売上高（連結）	88億211万円（2024年7月期）
事業拠点	日本・フィリピン
従業員数（連結）	371名（2024年7月末現在）

注意事項

本資料に記載の数値は、一部の項目で端数調整しております。

正確な公表数値については、決算短信をご参照ください。

本資料に記載されている業績見通しは、2025年3月時点における経済環境や事業方針などの一定の前提に基づいたものです。従って、様々な要因により実際の業績がこれらの見通し等と大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。